

郡民諸君!!

今回の伊那電争議に付き我々郡民は冷静に考へて見る必要が有る。
伊那電従業員が今迄會社の安い賃金の下に働き忍従の生活を續けて來たが、労働者が其維持改善の爲に組織した労働組合が生まれてから、
今回正義に立する待遇改善の要求を會社に提したるに伊那電會社は之を足下に拒絶したのである、此處で従業員が其初志の目的貫徹の爲に唯一の力たる團結に依つて同盟罷業を決行したのである。

罷業に依り伊那の唯一の交通機關は奪はれ、郡民諸君は不便を蒙つたのであるが、かくの如く、直ちに一般に關係ある事業に携はる労働者——其原動力が貧苦の下に會社に盲従せねばならないと言ふ理由が何處にある？ 會社側或は諸君が「公共事業故に」と言ふならばより以上 其公共事業の爲に働く者の生活の安定を得さしめねばならないのである。而るに會社は此の従業員の叫を一顧もせず従業員が重大な任務者であると言ふ事を考慮して居ない。之が罷業の原因であると共に其責任が會社側に存在する事も明瞭である。尙會社では此要求を入れないのみか、應援を得て自分の従業員に挑戦して居るではないか。

郡民諸君

罷業に依る多少の不便は忍んでも會社の不當に暫徴を加へると共に伊那電従業員の生活の安定を得さしむる爲に正しき理解を持たれたい
我上伊那青年雄辯聯盟有志は此處に罷業團に對して援助し郡民諸君に右の如き理由を訴へ同情を求めると共に我々の態度を聲明する。

大正十五年五月二十六日

上那那青年雄辯聯盟

有志

郡民諸君